

「いいこと」が次々起こる幸運な女の練習帳

84. あなたの心のファインダーは“楽しい現実”をとらえていますか？
パートナーに捨てられる恐怖の心は、パートナーに別れを告げているのと同じです。

潜在意識の働きをわかりやすく説明するたどえとして、よくカメラが使われます。想像はちょうど写真のネガ、現実はその焼きつけたポジと考えるのです。自分の心のファインダーを覗いたものがネガとなります。

もしこのネガによくないものが写っていたり、ピントが合っていなかったりしたらどうでしょうか。現実もその通りの写真が焼きつけられてしまいます。想像と現実の関係もこれと同じなのです。

よい想像をすれば、よいネガがつくられ、悪い想像をすれば悪いネガがつくれます。写真というものはネガが悪かったら、後でどんなに技術的工夫をこらしてもよいものにはなりません。ですから悪い想像を心に描いてはいけません。

ある若い女性は恋人から捨てられるのではないかと、そればかり心配していました。実際にそのような兆候があったわけではありません。にも関わらず、彼女は心の片隅でいつもそのことばかり想像していたのです。

すると、相手は彼女が自分と別れたがっていると思うようになりました。表立った理由はありません。ただ何となくそう思うようになって、彼女のためにと自分のほうから「別れ話」を持ち出したのでした。

彼女はずっと悪い想像を描き続けて、ついにそのネガを現像してしまったこととなります。このように恐れを抱き続けていると、それは必ず現実になって姿を現すのです。

「私はそんなことは望んでいない」と言ってもダメです。よいことであれ、悪いことであれ、心に強く思ったことのほうが優先して現実化するからです。

自分の心の中にあることが、現実になるならば、つねによいことを考えているほうが人生を楽しむことはおわかりになるはずです。否定的な考え方や悪い想像は自分がそれを望むのでない限りは、さっさと捨て去るべきです。

否定的な考え方や悪い想像を捨てられないのは、予測をするからです。自分の近未来を誰もが予測して生きています。予測はあくまで予測ですから、どうぞよい人生、輝いている人生を予測し、それを現実のものにしてください。
